

## 令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：高知県津野町

協定締結日：平成28年(2016年)7月26日

活動状況：継続中

連携先窓口：高知県津野町 企画調整課

活動資金：自治体予算 および個人予算

担当教員(所属)：入江彰昭(地域創成科学科)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：谷岡由梨(国際食農科学科)

活動目的：

- (1) 貝ノ川集落・棚田の里との交流事業
- (2) 津野山学の教育支援
- (3) 特産品開発の研究支援

活動内容・成果：

- (1) 貝ノ川集落・棚田の里との交流事業 3月24日-26日に実施した

課題・改善点：

活動の日程調整および交通費。

■3/24～3/26 東京農大訪問行程表			
日付	時刻	行程内容	
		入江先生	学生4名
3月24日(金)	7:35	JAL491便 羽田発	
	9:05	" 高知着	
	9:30	レンタカー手続き(ニッポンレンタカー高知営業所)	
		昼食 *高知空港～津野町まで高速で約1時間	
	13:30	津野町会議 ※終了予定15:00	フォレストアドベンチャー
17:00	葉山の郷(宿泊)		
3月25日(土)	13:00	貝ノ川地区(燻製作り)	
	17:00	葉山の郷(宿泊)	
3月26日(日)	8:30	●地域活動支援 貝ノ川地区の田役(水路掃除) ※オーナーさんも参加	
	12:00	棚田オーナー交流事業参加	
	15:00	貝ノ川地区発 *津野町～高知空港まで高速で約1時間	
	17:30	レンタカー手続き(ニッポンレンタカー高知営業所)	
	19:20	JAL498便 高知空港発	
	20:35	" 羽田空港着	

## 津野町 レポート

地域創成科学科3年 山下真奈

### <学んだこと>

棚田には、江戸時代からの歴史がある。石垣の積み方が空積みと練り積みがあり、空積みでできた石垣がまだ多く残っているとのことであった。崩れてしまったところは、練り積みとなっている。石垣の下の方は、石が大きく、上に行くにつれて小さくなっていく。

川の石が白いのは、石灰岩であるからであり、地質帯としては、秩父とつながっている。ユキモチソウが多く咲いていた。棚田キャンドルまつりでは、5000本のキャンドルをペットボトルで飾っている。サワガニは、昔食べられていた。津蟹は、7月からがおいしく、津蟹汁が美味しいというお話を聞いた。昔は、川にウナギがいた。

今回の津野町の貝ノ川地区の水路掃除の地域の方々との交流のなかで、貝ノ川がいいところであると誇りを持っていることを感じた。

### <津野町の良さ>

#### ・貝ノ川の棚田

貝ノ川の棚田の景色が、展望地点で見る景色と下から見た景色、それぞれに魅力があると思った。下から見る景色は、後ろのヤマザクラや棚田の間にあるソメイヨシノなどの景観が素晴らしいと思う。上から見た景色は、圧巻であった。棚田の曲線美とそれぞれの山んぼが連なっているところが素晴らしかった。



#### ・地域の方との交流

水路掃除の際には、地域の方々とオーナーの方との交流もできて、とても充実した時間を過ごすことができた。貝ノ川地区が魅力のある場所であり、それを守るために多くの地域住民の方が協力しているところも、人とのつながりがあり、素晴らしいと思った。

人の温かさがあるとてもいい地域であると思った。また来たいと思う魅力の詰まった地域であると思う。

#### ・サワガニ

サワガニが多くいることにとても驚いた。地元の方々にお話を聞く限り、サワガニはどこにでもいるとのことであったが、道を探して歩けば、たくさん見つけられることができることは新鮮であった。サワガニが、こんなにもたくさんいるところを見るのが初めてだったので、探すのが楽しかった。



#### ・津野トック

トックトックで地域を回るツノトックが4月から11月まで運行していることを知った。風が気持ちよく、アトラクションのような臨場感を感じることができ、ワクワクした気持ちで景色を楽しむことができた。他にも道の駅が多くある印象を受けた。道の駅が多くあると感じた。特産品を知ることができる場所として、とても良いところであると思った。その中でも上佐文口が美味しかった。



#### ・四万十川源流地点

四万十川の源流地点は、沢登りのようで水の音を楽しみながら自然を感じることでできるスポットであると思った。岩がコケによって覆われている光景は圧巻であった。地区の中にすぐに行くことができる川があることも自然を身近に感じられる良い点であると思った。山菜も多くあり、個人的には、つくしがいっぱいあるところも羨ましく思った。

